

東日本大震災被災地における地域のレジリエンス向上を目指した海浜植物群落の再生と環境・防災学習・地域交流ネットワーク形成

活動地域 北海道、宮城県、岩手県

ひろげる助成

3年目

実践

育てた海浜植物の数量 **2,500株**

植栽活動に参加した人数 **150人**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **90%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

被災地においての活動の主体となる町内会やNPOなどとのネットワークの構築や関係づくりを持続的にやっていくこと。

■工夫した点

想いを色褪せないものとするため、そして学び合いや心のふれあいを目的として双方の市民による交流会を併せて実施した。



仙台市荒浜でのいきもの観察会の様子

課題

震災から10年が経過し、被災地では時間の経過による風化に対し状況の改善が必要である。継続的な活動として定着させていくため地域での担い手の発掘・技術移転が求められる。

目標

地域との連携で継続性を担保しつつ、海浜植生の保全・復元活動を続けることで、環境教育+防災教育が定着し、海辺の生態系保全と防災への意識を維持していけるようになる。

活動内容と成果

北海道内での市民や企業、地域との活動において、海浜植物のレスキュー活動で集めていた種子より約2,500株を育苗。約1,500株を宮城県などの海岸現地3か所の適地と近隣仮植地へ、双方の市民延べ150人で移植した。例年6月に仙台で行っている植栽交流会とフォーラムは開催できなかったものの、WEB上で行うことによりこれまでより多くの地域からの活動報告を聞く機会となり交流することができた。その様子を映像として保存することもでき、今後の活動に向けた新たな取組み方法を見つけることができた。



岡田小学校での苗づくりの様子

全助成期間の活動を振り返って

ここまで目標としていた地域での活動へと移管していく形が、仙台市と気仙沼市で小学校、地域の方々を交え確実に進みはじめ、教材などとして使えるツールづくりまでは実現できなかったものの、モデルづくりは進めることができた。この地域を越えた交流を続けてきたことによって、普段つながることのない人たちや自然の大切さ、そして防災や減災に繋がる学びの場を提供するかけはしとなれたものと感じている。



大谷小学校との植栽活動の様子

〒064-0808
北海道札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園405
手稲さと川探検隊内
HP : <https://hamahirugao.jimdo.com/>



今後の展望

構築されたネットワークをもとに、各々の地域の学校や活動団体との協働を進め、自主的な活動となるように進めていく。また本活動で得られた成果をもとにモデルとなるようなツール作りを併せて実施していく。